

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		担当部課	部課コード	110300	2998-9379
事業コード	都市計画法に基づく開発許可等に関する事務	開発指導課			
110302		グループ	開発審査担当		
開始年度	昭和47 年度	終了年度	年度		

事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令
	分野別計画・指針				都市計画法
	関連・類似事業	所沢市街づくり条例に関する事務(開発指導課) 違反開発防止事業(開発指導課)			
	総合計画の体系	章 街づくり	節 土地利用	基本方針	合理的な土地利用を推進します
事業開始の背景	昭和30年代から40年代にかけて、都市への著しい人口集中が生じ、市街地の無秩序なスプロールが進行して不良市街地が形成された。その結果、地方公共団体は、後追的に公共施設(道路・公共下水道等)への投資が大幅に求められてしまった。このような都市問題を解決するため、都市計画法が施行され、所沢市では、昭和45年より開発行為等について許可が必要となったものである。				

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	無秩序な市街地の防止と計画的な市街地の形成のため開発行為が許可制となっている。開発許可制度により、開発事業者に必要な公共施設の整備を義務づけ、良質な宅地水準を確保するとともに適正な土地利用を図ることを目的とする。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	414 件
	開発許可等申請			平成 27 年度	412 件
事業の具体的な内容及び実施方法					
1. 都市計画法第29条に基づく開発許可申請の審査及び処分を行う。 2. 同法第35条の2に基づく変更の許可申請の審査及び処分を行う。 3. 同法第36条に基づく工事完了の検査を行う。 4. 同法第37条に基づく工事完了前の建築制限等の承認申請の審査及び処分を行う。 5. 同法第42条、第43条に基づく建築許可申請の審査及び処分を行う。 6. 同法施行規則第60条に基づく適合証明申請の審査及び処分を行う。					

経費	会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)		平成 27 年度 (千円)		平成 28 年度 (千円)	
	予算現額			1,377		835		913
決算(見込み含む)			703		610			
(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	(人)	(0.24 人)	(人)	(人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。		
正規職員人件費		3.76 人	32,791	4.65 人	40,269			
事業費合計			33,494		40,879			
財源内訳	一般財源		33,494		40,879		913	
	国・県支出金							
	その他()							

実績	項目名	項目説明	単位	H 26				H 27				H28見込み				将来目標			
				開発許可申請件数	開発許可が申請された件数	件	68	75	84	80									
				建築許可申請件数	建築許可が申請された件数	件	84	90	64	120									
				適合証明申請件数	適合証明が申請された件数	件	262	247	292	350									

成果	項目名	項目説明	単位	H 26		H 27		H28目標値	将来目標			
				成果指標	完了検査済証交付率	完了検査件数に対して完了検査済証を発行した件数の割合	%			目標値	85	100
								実績	97	100	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図 <input type="checkbox"/> 実績縮小図	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	114	100	どちらかをチェックしてください					

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	相談案件についてグループ内で定期的に会議を行うことで、グループ内での情報共有を図り、回答の迅速化、適正化に努めた。	

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	方向性の	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	申請件数については、今後しばらくは同等の件数で推移していくものと考えられる。引き続き審査基準を適正に運用し、事務の効率化を図る必要がある。
			次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	適正な事務処理を進めるため、今後も同等の予算額が必要である。
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性		
	担当者の能力に応じて業務を分担することにより、更なる業務の効率化、適正化を図っている。			当該事業を適正に実施することにより、市街化区域及び市街化調整区域の区域区分(いわゆる「線引き制度」)を担保し、良好かつ安全な市街地の形成と無秩序な市街化を防止するため、今後も継続して行っていく。		
評価日	H28.7.27	評価者職氏名	開発指導課長 磯野 尊治			

環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	公用自動車の使用	規制を受ける環境法令等	無
					緊急事態	無